

町の広報の役割とは

広報紙は「町政運営の方針」や「町行政における重要事項」、「町民に周知すべき事項」などについてお知らせし、町民の皆さんとの情報の共有化を図ることを目的に発行していますが、合併によって制度の変更や新たな取組みが増えた安平町では、正確に町民皆さんに伝える手段として活用されています。

しかしその過程すべてが喜ばれるものばかりではなく、経費面の問題や地域で配布に協力していた、たく方への負担の増加など、考え直さなければいけないことも増えています。今回広報についての現状や近く取組む内容に関してご紹介したいと思います。

町では広報紙として「広報あびら」「広報笑顔」を発行していますが、その他に教育委員会が発行する生涯学習だよりやそれ以外の課においても掲載ができなかった物を各課が単独で発行する別刷印刷物などが多数存在します。

広報紙の発行

毎月5日と20日に広報紙を発行しています。

5日発行をメインとして地域の情報（できごと・お知らせ）や写真を掲載しており、字の大きさも昔と比べてかなり大きく、見やすい広報紙づくりを目指しています。

次に20日発行の広報では、5日で周知できないお知らせ限定で発行しています。

ただし紙面が限られていることもあり掲載できない内容が別刷のお知らせとして数が膨れ上がる状況がこれまで続いています。

広報紙の各戸配布

発行日までに印刷された広報紙は、発行日の朝に役場に集められて配布先の数に束ねて発送されます。

役場では地区の自治会・町内会の班長・組長等の単位に数を揃えて送付しますが、広報の種類が多いとその数だけ仕分けする班長さんなどの手間や重い負担も増加します。

伝えようとする側の都合で数が増え、協力していただいている方への負担が増加して

いることに対して町では改善策の検討や協議を行ってまいりました。



経費面・内容の充実そして伝達力の強化

多くの自治体が財政面の見直しを行う上で広報の発行経費を抑制する考えが増えていますが、安平町ではその点も検討しながら内容の充実や新たな取組みを進めています。経費面や協力者に負担を増加させている町発行の別刷印刷物（チラシ）は、集約して町の支出をトータルで削減すること、内容面では、平成22年7月「国保会計赤字の危機！」の特集を皮切りに不定期で掲載を始めた政策広報は、

町の問題や特に重点を置く政策面の特集として取組みを行います。

これらの取組みを行うことで広報「あびら」と「笑顔」を見れば町の情報が得られる「町の広報」本来の役割や力を回復することを目指します。

現在インターネットの普及でリアルタイムの情報やペーパーレスを願う方は増えてはいると思いますが、広報紙がすべての町民に町の情報を伝える役割を切り捨てることのできない以上、今まで同様の伝達方法で計画的に町の事業や制度、そして町内の話題を正確に、ある意味地味に、ニュースというより計画や報告書のような使命で発行していきま

広報モニター制度

広報紙をもっと親しみやすいものにするため、町の広報へ意見や提言を行っていただく場を設けています。

難しい仕事と思われ敬遠されがちで応募がとも少なく、ご意見なども限られたものとなっております。ぜひご協力をお願いします。

広報からのお知らせ

広報紙のリニューアル

5月から広報紙の内容を一部見直します。

「広報あびら」では合併後教育委員会が別刷で発行している「生涯学習だよりきらり」の専用ページを設けて一緒にお伝えする方法や、広報「笑顔」は紙面を増やして別刷広報紙の発行を抑制する取組みを開始するなど、馴染んで愛読されている方には若干違和感をもたれるとは思いますが、いろいろと目的を持った取組みとしてご理解をいただくことと、皆さんからのご意見をいただき、そしてもっと親しみのある広報に向け改善できるように考えています。

